

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社長以下職員全員が日ごろから「笑顔で安心・・・」という理念を意識し、ご利用者様、ご家族様との関わりを大切に実践しております。	『笑顔で安心一緒に暮らそう。あなたと私ずつと家族だよ』という開設時から掲げている理念を基に、ご利用者の笑顔、職員の笑顔を大切にしたケアを行っています。また、事業所内の各所に理念を掲示してあり、ご利用者と一緒に理念を確認する機会もあり、理念を実践できるように努めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入居者様のお友達、ご家族様、又中学生の体験ボランティア様、行きつけの理容院や美容院等家族的なお付き合いをして頂いたり、ゆっくりと応対して頂いており有難く思っています。	花いっぱい運動に参加したり、事業所の夏祭りにも地域の方にも参加して頂いています。また、歌や踊りのボランティアの方に来ていただいたり、中学生に体験学習に来ていただいたり、近隣の事業所と交流会を開催するなどして、近隣の方々とは日常的に交流し、馴染みの関係ができています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市内の中学生体験ボランティアを受け入れ、一緒に作業をして頂いたり食事作りをして頂き、「楽しかったしその人その人を知ることが大切だと思った」など感想を頂いているので多少は活かしていると思っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、魚沼市、地域包括、民生委員、ご近所、入居者様ご家族で構成される協力構成員の皆様と日々様子を写真入り資料に基づき説明、話し合いを実施し、皆様からご意見、ご指導を頂いたり、市からのアドバイスなど参考に日々努力しています。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、民生委員や近隣の住民、市の担当者や地域包括支援センター職員、ご家族から出席してもらっています。会議で頂いた意見はしっかり受け止めて、サービスの質を向上するように努力しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や実地指導等を通じて事業所の内容や疑問に思う事等話し合い指導いただいております。又、日々の中でも入居希望者についての紹介をお願いしています。	市の担当者や地域包括支援センター職員には運営推進会議にも参加していただいております。アドバイス頂いているほか、市主催の地域ケア会議や区分別ケア会議にも出席しており、いつでも気軽に相談しあえる関係にあります。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が日々意識しながら支援しております。市の研修などにも参加し伝達を行いながら出来るだけ0に近づくよう努力しています。どうしても必要な場合はご家族さまに相談し必要最低限に抑えております。実施中は検討しながら外せる努力をしています	ホームとして身体拘束は行わない方針ですが、やむを得ず身体拘束を行う場合もご家族の同意を得ています。玄関の施錠も夜間のみとし、マニュアルを整備し、身体拘束に関する研修も行ない、身体拘束をしないケアに努めています。	
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関して全職員が、決してあってはならないと日頃から意識した関わりに取り組んでおります。全職員が学ぶ機会があれば参加できるよう実施しております。新人研修ではその都度説明しております。	管理者・職員は、グループホームの密室性が虐待につながる可能性をよく理解しており、マニュアルを整備し、虐待防止に関する研修を行ない、防止に取り組んでいます。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	最近是一人暮らしの方など入居前から成年後見人制度を利用したいと言う意向が多くあります。居宅や親戚を含め活用できるように話し合いや準備を、しております。新人研修で取り入れて説明しています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には長期入院した場合や、看取りになったときはどうしたら良いのかなど、家族が不安に思っている所について何度でも丁寧に説明して安心して頂くように努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に話し合ったり、運営推進会議の場でご家族さまからの意見を聴かせて頂いたりした中で反映できるようにしております。	毎月のお手紙や事業所の広報もお送りし、情報提供を行っているほか、ホームの夏祭りや新年会にはご家族にも参加の案内をお送りし参加していただき、意見をいただけるよう場としています。苦情などは寄せられていませんが、玄関にご意見箱も設置し、面会時に確認したご家族の要望を実際に活かしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティング担当を職員持ち回りで実施する中でその都度話し合い反映できることは実践している。	職員が日頃の気づいた点も改善提案を行っているほか、毎月ミーティングを行い、職員の意見を吸い上げるようにしています。社長、管理者も現場で業務を実際に行う中で、職員とも業務の中で意見交換を行ない、対応するようにしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場内の環境など常時意識し、職員が働きやすい様に職場環境の向上努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修(職員がやりたい内容)を自主的に実践できる環境を確保職員のスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の区分別ケア会議やグループホーム交流会を通じて取り組みをしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居後は本人様の知らない所で不安にならない様に出来る限り声掛けを多くし、本人様の声、言葉、をじっくり聞きながら少しずつ信頼関係が築ける様に傾聴を大切にしております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前訪問の場で困っている事や悩みをじっくり聞き、納得頂けるまで説明させて頂き不安が少しでも軽減できるようにしております。又入居後も変わらず関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様がグループホームの利用を決意されたことを念頭に置き、入居後にもご家族様の負担が軽減される様なサービスなどについて説明できるようにしております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の皆様は在宅時と変わらず誰かの役に立ちたいといつも仕事を探しております。家事のお手伝いなど職員と一緒にして頂きお互いが有難うを伝えられる関係になっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族さまからもできるだけ面会に来て頂き、その都度必要なことは相談させて頂いたり、家族からの申し出があるときは一緒に外出等して頂いております。	事業所広報の「あったか通信」と担当職員が作成するお手紙を毎月送付しているほか、日頃からよくご家族とコミュニケーションが取れており、外出・受診の支援もご家族の協力をいただくなど、一緒に支えあうことができるよう関係づくりに努めています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日常会話の中に出てくる実家や、家族との交流、知人の訪問、地域のお店屋さん等懐かしい所に、買い物、お茶のみ、散歩など交流させて頂ける様にしております。	親族の方に定期的に面会に来て頂いたり、馴染みの美容室へ出かけたり、ご自宅に帰られたりと今までの関係継続支援に努めています。また、ご家族にも協力して頂き、外出に出かけたり、買い物に出かけたりもしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	出来るだけ居室に閉じこもる時間を減らすようにサークル活動や、交流会を初めカラオケ大会、時には自然の中へドライブに出かけたりしています。又仕事の無いのが一番困ると言う方などには家事のお手伝いなど協力いただきながら支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様の負担にならない様に必要な時は何でも相談してください、出来る限り対応させて頂きますと話しております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	可能な限りご希望に添える様に支援させて頂いております。中には職員のみではかなわない事もありますのでご家族さまからの協力もお願いしております	散歩に出かけたい方、自宅へ行きたい方、畑をしたい方、ご本人が話してくれたり、訴えてくる希望に添えるように日々の生活の中で聞えてくる会話なども耳を傾けて把握するようにしています。また、センター方式の書式を使用し、日々の生活のなかで得た情報を職員間で共有し、支援できるようにしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の話題提供にもつながって来ますので、生活歴や生活環境を大切にして皆様との会話など楽しむようにしています。	事前面接の際にご家族やご本人に聞きながら情報を集めたり、入居前のケアマネに教えていただいたり、面会に来ていただいた友人から教えてもらったりと情報の把握に努力しています。また、定期的に情報の更新の機会も設けており、職員間でも情報共有できるように努めています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	支援経過記録や業務日誌、申し送りなどで個々のご利用者さんの現在の様子、情報が共有できるようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングとセンター方式を利用してサービスについてはなしあってその時々々のサービスを行っています。	毎月の会議にてカンファレンスを行い、3ヶ月に1回は定期的にモニタリングも行っています。ご家族の要望も確認し、プランに取り入れ、日々のサービスに繋げています。	サービス担当者会議を行った際はサービス担当者会議録を作成されることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々に記録するほかに大切な共有情報は業務日誌で申し送りしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様の思いつきの希望や、ご家族さまからの申し出など、特別なことがなければ叶えられるように支援しています。特にご家族からの希望は大切に支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行きつけの理・美容院、お店屋さん・スーパー等懐かしい場所に出かけられるように支援している。又友人や、ご家族からの訪問もお待ちしております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に主治医について説明させて頂き、特に希望の無い方は施設の協力医さんから主治医をお願いしております。ご家族さまも往診して頂けることで安心して頂いております。	協力医以外の受診は基本的にご家族にお願いしています。医療機関には受診連絡表を渡し、情報提供を行なっています。月に1度は往診に来ていただいております。連携を図りながら対応しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の変化などは詳細を主治医にfaxし相談及び指示を受け適切な支援が出来る様にしている。又月1回の往診時には全利用者様の様子、問題点を記入しfaxにし事前情報を連絡させて頂いています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の地域連携室と協力し病棟関係者との連携を計っております。入院が長引かない様ご家族から詳細を話して頂くようにしております。早期カンファレンスを希望し退院につながるように連携しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期についての話をさせて頂き、その時のお互いの考え方など話し合っています。又実際の場面になったときには再度考えを聞き取りご家族の思いに添って主治医と連携しながら穏かに過ごして頂ける様に取り組んでおります。	契約段階で管理者は、ターミナルまで支援することを前提としたホームであることを伝え、看取りの指針やマニュアルを整備しています。また、ホームでできること、できないことを明確に示し、ご利用者の状態に応じて主治医、ご家族とその都度話し合いを行っています。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎年救命講習を受ける他に内部研修などでさらに学びいざと言う時に即戦力につなげたいと思っております。	全職員に普通救命講習の受講を勧めており、急変時に適切な初期対応ができるようにしています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練を実施しております。歩行できない方をどうやって避難させるか等、課題を決めて訓練するようしております。運営推進会議を通じて市との連携を深め協力体制をきづいています。	避難訓練を年2回実施し、運営推進会議に参加してもらっている近所の方々には非常時の際の協力を依頼しております。また、非常用の食品についても定期的に点検しています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人おひとりの思いや声を大切に、日頃から傾聴に心がけ、プライバシー等に配慮し関係を築いています。	広報誌への写真の掲載は入居の際に同意を得てから行なわれており、声かけも方言を使用してもきつい言葉にならないように配慮し、支援が行なわれています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定の困難な方もおりますが、可能な限り日々の会話の中で希望が表現できるような声掛けや支援を行い自己決定の出来る様にしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る範囲で個々の希望を実現できるように努めております。(買い物、ドライブ、散歩など)		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々に違うが散髪の声掛け及び美容院への送迎などしています。(在宅時の馴染みの所への支援も実施しています。)朝の洗顔屋お肌の手入れなど個々に違いますが化粧品屋さんへのお付き合いなどしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物など、折々に聞きながら外食したり当日の献立に取り組んだりしております。ご本人様の誕生日には好物を用意し皆で一緒にお祝いしています。又おはぎ作りやおやつ作りなどして頂きご馳走になっています。その後は茶碗拭きなどして頂いています。	ご利用者にもできる範囲で調理や味付け、後片付けなどにも参加していただいています。また、誕生日には希望食を取り入れたり、個々のご利用者の要望に応じて外食支援を行なうなどの対応もとっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	実施している。毎食食事量を確認し記録する中で少ない方には主治医と相談し、栄養補給剤など処方頂き、飲用して頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	実施している。中には困難な方もおりますが出来る範囲でスポンジブラシなど使用し実施しています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	在宅からリハビリパンツ使用でこられた方等、様子を見ながら家族に説明し、綿パンツに切り替えたり、出来る範囲でトイレ若しくは、ポータブルの使用が出来る様に声掛けなど行っている。	必要な方には排泄チェックを行ない、一人ひとりに合わせた適切な誘導、支援をしており、職員のさり気ない見守りや声かけで気持ちよくできています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来る範囲の運動を初め、水分補給や食物繊維の多い野菜など摂って頂ける様にしているが、寝たきりとか下肢筋力低下などで動けない方も多く、主治医と相談して下剤（便を軟らかくする薬や漢方薬等）をご利用者様の状況に合わせて処方して頂き、排便管理をし調整しながら実施している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	全体では入浴表で入って頂くようにしているが、入りたいと思うような声掛けなど工夫しながら実施しています。本人様がどうしても入りたくない時は決して無理はしていません。	毎日入浴は可能な状態になっており、入りたい方には毎日でも入ってもらっています。入浴を嫌がる方には声かけのタイミングを変えるなどして入浴をしていただけるように努めています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	季節に応じ冷暖房、アイスノン、湯たんぽ等使用して少しでも気分よく入眠できるようにしています。どうしても眠れない時は起きて職員と過ごすこともあります。時間を空けると又眠れるようです。中には入眠剤を服用されている方も数人おります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医の往診時、薬の処方をして頂き、説明して頂くようにしています。又薬局の薬剤師さんにも色々教えて頂いています。職員はその都度確認しながら服用支援をしています。変化に気づいた時は主治医に確認し指示を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役に立ちたい、お手伝いがしたい、そう思ってくれている方が殆どで、出来る内容を判断しながらお願いしている。又ビールを飲んでもらったりオセロ対決をしたり気分転換を図っています。最近テレビドラマ「おしん」にもはまっております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	当日の天候やご利用者様の体調などみながら花見や、買い物に出かけたり、ターミナル期の方の希望でご家族様と連絡取りあって上越の実家まで出かけたり、出来るだけ希望に添った外出が出来る様にしています。	日常的にご利用者と一緒に近くのスーパーに食材の買物に出かけているほか、季節に合わせてお花見や山菜採りにも出かけています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居時ご家族様本人様と、話し合って個人財布を持ってきている方もおり、自分の嗜好品を購入する際には支払っております。お金がないと心細いと言われるのでご家族さまに連絡し補充して頂くようにしております。購入時の笑顔が素敵です。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人で携帯を使用される方や、県外にいる子供から掛けてきた電話を取り次いだり、こちらからダイヤルを回してやったりの支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、季節感あふれた塗り絵や、ちぎり絵など貼ったり、冷暖房の調整を行い、臭気対策として緑茶を煎って香らせたり、天気の良い日には窓を開け空気の入替えをするなど工夫しています。	全体的に木材を取り入れた温かみのある内装になっており、飾られている写真や装飾品も家庭的です。食堂のテーブルも一般家庭と同様のものを使用しており、季節の花も飾るなどして、居心地のよいリビングになっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂、交流ホール、サンルーム、何処で過ごされるかは個々にお任せしている。テレビを楽しまれる方、ゲームをされる方、ざわめきの中気持ちよさそうに眠っている方などの見守り声掛けをしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭で使用していた家具やテレビ、本人が大切に思っている物(仏壇、写真、化粧品、衣類)など持参し設置することで居心地良く過ごされていると思う。	居室には、ベッドやテレビなどをご自宅から持ち込んでもらっています。また、ホームでの写真や家族の写真、カレンダーを飾るなどして、その人らしい部屋作りの工夫をしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には行動の妨げになる物をおかない様にし、居室に記名したり、トイレの場所がわかるようにしたり、手すりを施し、見守りの中で自由に行動、生活できるようにしている。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します						
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の	63	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの			2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない			4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある	64	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある			2. 数日に1回程度
			3. たまにある			3. たまに
			4. ほとんどない			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が	65	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが			2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが			3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない			4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が	66	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが			2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が	67	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が	68	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない			4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が			
			2. 利用者の2/3くらいが			
			3. 利用者の1/3くらいが			
			4. ほとんどいない			